
冬期におけるアカミミガメの交尾の一例

谷口真理・小畑敬済・三根佳奈子

653-0844 神戸市長田区西代通1-1-5-504 株式会社自然回復

A report of mating red eared turtles in winter in 2017.

By Mari TANIGUCHI, Takazumi OBATA and Kanako MINE

Nature Recovery Co.Ltd., 1-1-5-504, Nishidai-dori, Nagata, Kobe, Hyogo, 653-0844, Japan.

2017年2月3日の冬期に淡水ガメの捕獲調査をした際に交尾中のミシシッピアカミミガメ(以下アカミミガメ)を発見した。冬期の捕獲調査は、胴長を着て、直接河川に入り、川底の泥の中や土手の横穴などを素手で探り、カメを捕獲する。その調査中に、発見したカメを引き上げたところ、2匹のオスメスが連なっていた(図1)。よく見ると、オスの膨張したペニスがメスの総排泄腔に挿入されており、交尾中であった(図2)。発見場所は、神戸市西区岩岡町前川橋付近を流れる清水川の水深50 cmほどの泥の中である。発見した時刻(午後1時15分)の気温は12.8 度、水温は9.3 度であった。また、サイズは、雄は腹甲長155.3 mm、体重761 g、雌は腹甲長171.7 mm、体重1010 gでいずれも成熟サイズに達した個体であった。通常、アカミミガメの求愛及び交尾は秋と春を中心に行われるとされ(Ernst and Lovich,2009)、冬期に交尾が確認されたことは非常に興味深い。



図1. 泥の中から捕獲されたアカミミガメの雄と雌



図2. 交尾中のアカミミガメ(2017年2月3日撮影)

引用文献

Ernst, C. H. and J. E. Lovich. 2009. Turtle of the United States and Canada (2nd ed.). The Johns Hopkins University Press, Maryland. 827 p.